

上北山村は、奈良県の東南地域に位置し、『東大台ヶ原』、西に『大峰奥駈道』<sup>おおみねおくがけどう</sup>を有する大峰山脈に挟まれた村です。もともと、紀州領に属し、本領の北にあることから北山と呼ばれ、奈良県下では上北山村と下北山村の二村がこの領域でした。古くから良質の木材が産出されたことから江戸時代には徳川幕府の直轄となり、将軍家の御用材御用材役を務める者もありました。明治22年に現在の西原、河合、小椽、白川の4大字からなる上北山村が誕生しました。



かみきたやまむら  
(写真提供：上北山村)



### 日本百名山 大台ヶ原

大台ヶ原は年間降水量5000mmという世界有数の降水量を誇り、この多量の雨が湿潤な気象条件を生み出し、屋久島と並ぶ日本を代表する原生林を形成しています。ハイキングコースは東・西のコースがあり、東大台コースは日出ヶ岳からの360°のパノラマ、スリル満点の大蛇岳<sup>だいじやくら</sup>などが見所で、登山道も整備されていることもあり、年配の方も多数訪れています。

また、西大台コースは大台ヶ原ならではの幻想的な原生林が多数続きますが、平成19年9月から日本で初めて入山者の利用調整が実施され、入山に関しては所定の手続きが必要です。



大蛇岳からの遠望



笹ノ窟(第六十二業所)

### 世界遺産 大峰奥駈道

平成16年7月、世界遺産に登録された紀伊山地の霊場と参詣道「大峰奥駈道」は吉野と熊野を結ぶ修験道の修行の道として役行者の開山以来1300年の伝統をもち、今なお修験者に活用されています(写真は第六十二業所の笹ノ窟<sup>しやうのいわや</sup>)。その中でも上北山村地内約20kmの間の奥駈道は標高1500m~2000m級の高地となり大峰山脈の中でも最も険しい参詣道ですが、その古道はブナ、モミ林等の原生林をはじめ、シロヤシオ、シャクナゲ、オオヤマレンゲ等の花木咲く豊かな自然道が昔と変わらず保たれています。

村では、定期的に「心の道ウォーク」を開催し、地元ガイドと共に村内各地の山々などを歩き、自然に触れあいながら上北山村の素晴らしさを伝えています。

上北山村役場ホームページ

<http://vill.kamikitayama.nara.jp/>



約40m離れた的に目掛けて矢を放ちます。

## 八日薬師(弓矢祭)

当地に住みついた平家一門が再興を願い練武を行ったことに因み、毎年1月8日、河合地区にある薬師堂で会式されたあと景德寺の裏庭で弓矢祭が古来のしきたりにのっとり厳かに行われます。

青年の中から選ばれた4人の弓手は、新春早々1月2日から練習を始め、年預と呼ばれる頭屋で心身を清め、厳しい1週間を過ごし、祭当日を迎えます。

## 瀧川寺

1392年の南北朝の合一のあと、南朝の系譜をひく北山の宮(後亀山天皇玄孫)が本村小椋の瀧川寺に神器をもって潜匿しました。ところが、1457年、宮は赤松家遺臣<sup>あかまつけいしん</sup>によって殺害され、これを知った村人たちは、神器と御首を奪い返し、瀧川寺に手厚く埋葬しました。

「瀧川寺」背景に山林を前景に小椋川の流をを活用した小さいながら美しい庭園のある寺院です。



瀧川寺



清流橋(河合)をスタートし大台ヶ原頂上を目指します

## ヒルクライム大台ヶ原 since2001

平成13年より大台ヶ原を舞台に「大自然の中を駆け抜けよう」をキャッチフレーズに地域の若者が中心となり始めた本格的な自転車競技です。コースは清流橋<sup>せいのうはし</sup>から大台ヶ原頂上まで。

大自然と自転車というクリーンなイメージで、今や全国的に注目され、毎年、全国各地それから海外からも、約600名の選手が集まり村中を熱気に包みます。

## 奈良共済ホームページのお知らせ



イベント情報で  
調べて  
奈良を満喫

今すぐアクセス!



奈良共済ホームページ



奈良共済ホームページのイベント情報をクリック!!  
奈良県内の各地のイベント情報を紹介します。

<http://www.kyosai-nara.jp/>